

競技会運営細則

大会名 第77回日本ハンドボール選手権東北ステージ
兼第62回東北総合ハンドボール選手権大会（開催県 青森県）

1. 競技規則

本大会は、2025年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則及び東北ハンドボール協会申し合わせにより実施する。なお、すべての試合で競技規則4-11を適用する（コート上で治療行為を受けたプレーヤーは、速やかにコートを出た後、自チームが3回の攻撃を終えた後、コートに戻る事ができ、その基準と例外については、競技規則解釈8を参照する）。

2. 競技時間

- ① 25分（前半）－10分（休憩）－25分（後半）とする。
- ② 競技終了後、同点となり勝敗が決しない場合、延長を行わず7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。決勝戦のみ延長を正規で行う。それでも勝敗が決しない場合は7mスローコンテスト（5人制）で勝敗を決する。7mスローコンテストの方法は競技規則2-2を参照する。
- ③ 加算式の電光表示板を使用する。
- ④ 競技終了やタイムアウト等の合図は、フォイスルまたはブザーを用いる。
- ⑤ 退場者及び退場時間は、電光表示板表示する。ただし大石総合運動公園総合体育館は、紙媒体でオフィシャル席に表示する。表示が消えれば入場することが出来る。入場の判断は、チームの責任による。

3. 大会使用球

（公財）日本ハンドボール協会の検定球を使用する。

4. 競技会場

- ・六戸町総合体育館 40m×20m
- ・野辺地町立体育館 40m×20m
- ・七戸町総合アリーナ 40m×20m
- ・大石総合運動公園総合体育館 40m×20m

5. 参加資格

- ① 代表者会議で決定したチーム役員・選手のみが競技に参加できる。
- ② ベンチは、チーム責任者1名を含み、チーム役員5名、選手16名の合計21名以内とする。ただし、臨時トレーナー（要資格）を届け出により追加で認める。役員・選手は、令和7年度に（公財）日本ハンドボール協会に登録され（区分は、高校）大会申込書及びプログラムに記載された者であること。また、チーム役員5名は必ず指定の役員カード（A・B・C・D・E）を身につけること。
- ③ 公式記録用紙に記載されている者だけが、交代地域に入ることが許される。チーム責任者は、試合開始前にチーム役員および選手の氏名と背番号が正しく記載されているかを確認し、公式記録用紙にサインする。
- ④ 選手・役員は試合前のトス・ユニホーム確認時に登録証をTOに一括提出

し、試合直前に審判員から本人の確認を受ける。登録証は常に携帯すること。各試合に登録証を提出しなければ、試合に出場、参加することは出来ない。なお、登録証は、再発行することができ、手続きは主管協会役員に問い合わせること。

6. トス・ユニホーム

- ① トス・ユニホーム確認は、各コートオフィシャル席前で第1試合は試合開始30分前、第2試合以降は、前の試合の前半終了直後に行う。代表者は、選手証及び参加申込みに記載した全ての種類のユニホームを持参すること。
- ② ユニホーム・装具等については、(公財)日本ハンドボール協会「服装や保護を目的とした装具に関する規定」を適用する。

7. 交代地域

- ① 各チームのボールは競技開始前にケース等に収納し、競技開始後のボールの使用は禁止する。
- ② 飲料水は、飲み口の細い容器を使用すること。コップの使用を禁止する。
- ③ 交代地域での通信機器の使用は「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。

8. 裁定委員会、上告委員会

本大会に裁定委員会(大会会長、大会委員長(大会副委員長)、競技委員長、審判長)、上告委員会(大会委員長・大会副委員長・総務委員長・大会委員長が指名した委員)を置く。なお必要に応じて関係者を同席させる。ブルーカードが提示されるなど報告書が提出された場合や、競技運営上裁定しなければならない事案が生じた場合は、早急に裁定委員会を開会し結果を当日中に関係者に通知する。異議申し立てについては、「競技運営に関する事項5-④」を参照する。

9. その他

- ① 本大会は、TO2名でオフィシャル管理をする。
- ② 2足制の厳守について
体育館シューズ、屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。守られない場合は別途指導する。
- ③ 松ヤニ等の使用について
全ての競技会場で両面テープの使用を認める。松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止とする。
- ④ 休憩時間(ハーフタイム)のコートは、次の試合のチームの練習に使用する。